

各地区業況アンケート結果（2022年9月調査分）

（2022年9月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、9月24日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ75名の回答があり（回答率53.2%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、(数は回答実数)

1. 半数の企業が売上数量前年割れ

問1】貴社の8月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	9	12	16	21	16	74	68
比率	12%	16%	22%	28%	22%	DI-31	DI-37
売上金額/前年同月比	31	12	21	6	5	75	69
比率	41%	16%	28%	8%	7%	DI+77	DI+90

2. 黒字6割強、収益状況若干悪化

問2】貴社の8月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	26	21	23	4	1	75	69
比率	35%	28%	31%	5%	1%	DI+89	DI+106

3. 公共建設向けがDI値プラスに

問3】貴社の営業窓口から見て9月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	12	29	6	1	49	+12	-45
民間建設向		17	31	9	2	59	+7	-41
自動車向		1	21	8	6	36	-53	-45
その他需要家向		13	41	11		65	+3	-41
仲間取引		8	33	13	6	60	-28	-58
計	1	51	155	47	15	269	-9	-46
比率	0%	19%	58%	17%	6%			

4. 秋需は期待薄

問4】貴社における向う10月から12月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	26	37	7	4	75	68
比率	1%	35%	50%	9%	5%	DI+17	DI+26

5. 鋼板類過剰気味傾向続く

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品種別	A	B	C	D	E		9月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI											
-10	-3	-6	-15	-17	-10	-10	-10	-3	-12	-21	-4	鉄筋用丸鋼		1	23	4	1	29	-17
14	11	6	-3	-7	-3	-14	-23	-7	-14	-23	-21	構造用丸鋼			29	5		34	-15
6	6	6	-10	-9	-9	-10	-6	-11	-17	-19	-15	平角鋼			32	3		35	-9
41	43	35	20	7	0	-10	-7	0	3	14	14	H形鋼		4	24	2		30	7
142	150	139	88	91	13	19	30	39	30	19	33	コラム		7	14	1		22	27
9	3	6	-11	-6	-15	-21	-11	-26	-30	-23	-18	小形山形鋼		1	29	4	1	35	-14
9	8	3	-11	-6	-18	-21	-12	-22	-28	-32	-20	中形山形鋼			30	5	1	36	-19
9	11	6	0	-6	-9	-9	-15	-19	-27	-18	-15	溝形鋼		1	28	4	1	34	-15
68	65	34	19	0	0	-4	-10	-6	-15	-14	-15	軽量形鋼C形			25	2	1	28	-14
33	39	27	-5	6	0	-6	0	0	-13	-12	-13	軽量形鋼広巾			16	1	1	18	-17
123	110	79	45	24	3	-41	-39	-33	-61	-61	-63	冷延薄板			14	12	4	30	-67
103	83	53	35	17	-17	-33	-20	-23	-44	-41	-45	熱延薄板			18	13	3	34	-56
133	127	97	59	47	21	-24	-30	-26	-41	-34	-48	表面処理鋼板		1	19	15	4	39	-56
126	109	80	47	15	-15	-27	-35	-31	-57	-64	-79	酸洗鋼板			12	14	6	32	-81
100	76	43	30	10	-13	-18	-14	-9	-33	-37	-46	中板			25	14		39	-36
90	83	67	53	26	-3	-5	-10	-23	-27	-35	-38	厚板			25	10	1	36	-33
68	68	52	35	26	9	18	-6	-17	-6	-12	-12	極厚板		1	13	4		18	-17
52	41	33	7	14	3	-7	-3	-13	-23	-21	-21	縞板			22	5	1	28	-25
83	71	64	21	16	0	-3	-3	6	-3	-3	-13	中径角		1	29	3		33	-6
58	32	38	23	6	-3	0	-14	-6	-6	-9	-12	ガス管黒			28	7		35	-20
61	39	38	19	13	0	0	-9	-3	-6	-6	-10	構造用鋼管			27	5		32	-16
64	55	43	21	12	-4	-12	-13	-13	-22	-23	-24	計	0	17	482	133	25	657	-25

6. 全国的に中小建築物件が少ない状況続く

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	中小案件が少なく、倉出しがない。
	B	(形鋼) 中小建築物件が少ない状況が継続中。在庫販売も上がらず、積み残しの値上げに苦慮している。
	C	(丸棒) スクラップ価格の反転は良いが、メーカー販価が下がらずにまた上昇傾向。得意先に理解が得られず、板挟みの市況。
	D	中小物件が少なく、全体需要も悪化。スクラップの下落の影響で荷動きが悪い。一部メーカーの値下げもあり、メーカー値上げ分に対する未転嫁分の実施がかなり厳しくなっている。単価上昇による与信面について対応が難しくなっている。
	E	(形鋼) 中小建築物件が少ない状況が継続中。在庫販売も盛り上らなく、積み残しの値上げに苦慮している。
	F	需要期であるはずの7月から倉出し出荷が落ち込み7~9月と非常に厳しい状況となっている。

東北	A	当社の取扱重量は年々減少傾向だが、地元ファブの山積みは高く、県外物件等ひも付きで結構な量が入ってきている。高炉の値上げ分もあと少しだが、需給バランスの関係で足踏み状態。
	B	(鋼管) 建築向け低調継続で店売り低調。価格は9月、10月と値上げ実施。
	C	丸棒の新規受注が少なく、契約残が減少。下期以降の数字が心配である。
新潟	A	特定サイズを除けば不足感はない。某自動車メーカーの集購価格値上げが市況にどう影響するのか。今後は一段と価格面で悩まれそう。工作機械の生産計画は悪くないようだが、部品調達の面で作り切れないのではないかと。という心配も継続している。
	B	9月に入り秋の需要期に期待していたが、動きは鈍く単価も落ち着いた感がある。今後のメーカーの動きに注視していきたい。
	C	見積り、引合いが少なく荷動きが悪い。一部の品種で価格転嫁が遅れている。
	D	大型物件は見えているが、地場の中小案件は少ない。某電炉メーカーの値下げのため、中板市況が弱くなりつつある。
	E	当地では建機、作業工具を除き他業種は低調な動き。価格転嫁は今月中に完了予定。
	F	現状、需要が旺盛で加工は忙しい。10月以降の需要は首都圏は相変わらず大型プロジェクトを中心に需要が多いが、新潟地区はあまり多いとは言えない。今後に期待。
神奈川		分野により濃淡があり、特にトラック、ダンプ関連により車の新たな不正問題で稼働に大きな影響が出てきそうである。
東京	A	(店売り関連) 引合い、売上ともに減少傾向にある。(需要家関連) 建設機械はいまだ好調を維持しており、高操業が続いている。
	B	8月は売上金額・販売数量とも前年比横ばいで日割りだと微増となった。売上金額だけはコロナ前の水準に戻りつつある。未だ秋需の中小建築案件はみられない中、荷動きは悪く、景気や市況は弱含んで見える。しかしながら、対岸の韓国鉄鋼メーカーの甚大な台風被害が起こったことは日本の市況にも少なからず影響が出てきそう。
	C	業況アンケートの回答はここ3~4か月連続で需要は低位横ばい、在庫過多である。某トラックメーカーの事件により、車全体への影響が出てしまっているわけではないが、荷動きは相関関係があるように弱い。
	D	(磨き棒鋼) 7~8月の原材料の値上げを受けて絶不調。下期の需要に期待しているが、見通しは暗いと言っている。
	E	顧客が鋼材の高騰を転嫁できておらず与信問題が散見されている。
	F	引き続き需要は低迷したまま、7月末薄板三品在庫は幾分減ったが、まだ437万トン台とまだまだ多い。350~360万トンでも十分ではないか。某電炉メーカーが売出価格を下げ、安い輸入材が大量に入着するようになると段階値上げどころではなくなる。どんどん値下げ圧力が強くなっていくものと思われる。
	G	(令和4年9月) トラックの買い替え時期が既に来ているが、納車予定が全く立たずポンコツで間に合わせている。早急に解決したい。
	H	9月に入り動きは出始めているが取引先の業種により動きの差がより大きくなっている。取引先の海外調達品の影響もあり、納期が変更になることもある。
	I	9月に入り、足元の荷動きは若干弱含み。値上げの様子見が伺えるが、10月より副資材等の値上げ分も加味して完全実施したい。
	J	荷動きは落ち込んでいる。建築向けについて大型物件は動いているが、中小物件は思ったほど出ていない。製造業向けも生産があがる計画であったが、変わっていない。某電炉メーカーが値下げしたことで、当面価格転嫁は様子見ざるを得なくなった。採算面は圧縮されつつある。

静岡	A	物件規模の二極化が進んでいる。中小案件が少ないせいか、各加工先は忙しくしているが全体的な繁忙感はない。薄板のリロール材に頭打ち感があり、値崩れ懸念が広がっている。安値玉の流入も要警戒。
	B	地元の工務店クラスの建設業も世代交代（三世の時代）にきている。我々の業界も共存共栄を考えるなら若い経営者の経営理念等を共有しなければ明日はないと痛切に感じる。某高炉メーカーの「グリーン鋼材」、CO2削減目標達成を2030年とし設備投資額1兆円はワールドスタンダードなのか。先進国家の見栄なのか良く分からない。盆休み明けから際立ったことはない。ファブH、M、Rクラスともに正直、各々の仕事量の把握が難しい。不良債権ゼロは継続中である。
石川		当地区はトラック、バスの生産減少が大変厳しくなっており、外注業務の一部へ金融支援が発注先から保証されている。2～3年続くのではないか。某バス会社の富山工場に外注が移りつつあることは当然である。車両関係に限らず、発注先企業の内部問題が全国ベースで出てきている。原因は世間を甘くみてるところだが、長期にわたって滞ってきたことが今になって綻びだしてきた。官庁も地に落ちたのか。まだ国交省からは真剣姿勢がうかがえるが当たり前のことである。
富山		地元民間建築（プラント含む）需要は先細りしている。材料値上り部分を他の部分でコスト削減を求められる。相見積りが増えており、収益の減少傾向が強まっている。よって高炉値上げ分の何%転嫁できるのか不明である。
岐阜		大手流通の拡販、タイト感の有無、スクラップの小反発、メーカーの発表、海外品の輸入。これらの要素が今後の市況にどう関係してくるのか予想がつかない。Rグレードファブにどれくらいの価格を提示すればよいのか。板金屋さんにいくらで酸洗鋼板を出せばよいのか。このような混乱した状況をステンレス屋さんはどうのように対処してきたか。
大阪	A	弊社の景況は淡々としており、需要動向は鉄筋を中心に安定している。
	B	一進一退で確かな傾向は掴みづらいが、今後、需要が出てくると期待している。鋼材価格はこの数ヶ月で、大幅に上昇したが、その鋼材を使った製品は価格転嫁できているのか。そこが問題である。
兵庫		建築の中小案件がない。
岡山		コロナによる営業停止（3～7日）等、小さな鉄工所でも見られる。出張訪問は受入れているが、罹患者の待機期間をインフルエンザ並みにしないと安心して営業活動ができない。売上は数量ベースでコロナ前の80%で推移している。
北九州		ここへきてスクラップが上昇に転じている。条鋼類のメーカー出値は下がりそうもないので利益を残すが難しい時期がきている。
福岡		昨年に比べ自動車産業の落込みあり。